

令和7年度

# 第63回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 令和8年2月12日(木)  
13:30～14:30

式場 石川県教員総合研修センター大研修室

## 式次第

- 1 開式のことば
- 2 表彰状及び記念品等授与  
個人表彰  
功労者表彰  
学校表彰
- 3 助成金交付  
学校助成  
研究機関助成  
研究奨励
- 4 あいさつ  
石川県科学教育振興会会長 高納伸宏
- 5 来賓祝辞  
石川県教育委員会教育長 酒井雅洋
- 6 受賞者代表謝辞
- 7 閉式のことば

主催 石川県科学教育振興会

共催 石川県教育委員会

# 受賞者等の紹介

## 1 個人表彰

金沢市立小坂小学校 主幹教諭 **竹田 嘉徳**

金沢市立田上小学校を初任に、白山市立蕪城小学校、金沢市立明成小学校を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励の応募多数、全国小学校理科研究協議会研究大会兵庫大会や全日本教育工学研究協議会全国大会で発表の実績がある。指導面では、金沢子ども科学財団児童科学教室やいしかわ「宇宙の学校」の指導にあたりるとともに、日本宇宙少年団金沢支部リーダーを務めた。また、「理科の学習」編集委員、金沢市小学校教育研究会理科部会幹事を務めた。さらに、金沢市教育委員会主催の初任者研修講師を担当するなど、理科教育の振興に貢献している。

津幡町立津幡中学校 教諭 **鶴山 達也**

かほく市立高松中学校を初任に、金沢市立浅野川中学校を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励の応募、全国中学校理科教育研究会三重大会及び石川県理科教育研究大会七尾・鹿島大会で発表の実績がある。指導面では、理科担当教員として、高峰賞受賞生徒や石川県中学生サイエンスチャレンジの参加生徒の指導にあたりるとともに、WRO Japan石川予選会出場生徒を指導した際には、優勝を果たし、全国大会出場へと導いた。また、いしかわ師範塾の研修講師を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

石川県立小松北高等学校 教諭 **浅井 俊光**

石川県立小松高等学校を初任に、同小松商業高等学校、石川県教育センター研修生（内地留学）、石川県立小松高等学校、同寺井高等学校を経て現在に至る。研究面では、石川県高等学校教育研究会生物部会研究発表会での発表や石川県高等学校生物部会会誌における研究発表を長年にわたり継続的に行っている。指導面では、いしかわ高校生物のつどいや石川県高等学校文化連盟自然科学専門部高校生のための秋の実験・実習セミナーの講師、小松市の保育園や小学校で科学教室の講師を務めた。また、石川県高等学校教育研究会生物部会加賀地区の理事を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

## 2 功労者表彰

金沢市立兼六小学校 教頭 **河内 大介**

金沢市立木曳野小学校を初任に、同小坂小学校、同明成小学校、津幡町立井上小学校、石川県教員総合研修センター指導主事、同担当課長、金沢市立浅野川小学校教頭を経て現在に至る。研究面では、ソニー子ども科学教育プログラムへの論文応募や全国小学校理科研究協議会研究大会福井大会での研究発表の実績がある。指導面では、金沢市少年少女発明クラブの指導員として、児童への指導にあたった。また、全国小学校理科研究協議会研究大会東京大会での助言者や金沢市教育委員会主催の初任者研修講師を務め、金沢子ども科学財団児童科学教室の副室長を担当するなど、理科教育の推進に貢献している。

中能登町立中能登中学校 校長 **水谷内 良郎**

七尾市立朝日中学校を初任に、金沢大学大学院（内地留学）、鹿島町立鹿島中学校、鹿西町立鹿西中学校、中能登教育事務所指導主事、珠洲市立三崎中学校教頭、中能登町教育委員会事務局教育文化課担当課長、中能登町立鹿島小学校校長を経て現在に至る。指導面では、日本学生科学賞応募生徒の指導にあたり、入選2等へと導いた。また、中能登教育事務所指導主事として、理科教育に関する指導・助言にあたった。さらに、石川県理科教育研究大会七尾・鹿島大会の実行委員長を務めるなど、理科教育の推進に貢献している。

小松市立南部中学校 校長 亀田 憲一郎

能美市立根上中学校を初任に、小松市立芦城中学校、同丸内中学校、同安宅中学校、小松教育事務所指導主事、小松市立芦城中学校教頭、加賀市立東和中学校校長を経て現在に至る。研究面では、石川県中学校教育課程研究協議会で発表の実績がある。また、小松教育事務所指導主事として、石川県理科教育研究大会白山・野々市大会では助言者を務めた。さらに、同研究大会加賀大会においては、研究部長を務めるなど、理科教育の推進に貢献している。

石川県立松任高等学校 校長 沖野 信一

柳田村立柳田中学校を初任に、能都町立瑞穂中学校、石川県立輪島実業高等学校、兵庫教育大学大学院（内地留学）、石川県立金沢二水高等学校、同金沢錦丘高等学校、同主幹教諭、同小松高等学校教頭、同金沢泉丘高等学校副校長を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励への多数の応募に加え、日本理化学協会賞を受賞した実績がある。指導面では、青少年のための科学の祭典の講師を務めた。また、石川県高等学校教育研究会理化部会物理実験研究会事務局、同県理事、同副会長を務めるなど、理科教育の推進に貢献している。

### 3 学校表彰

#### 金沢市立泉野小学校

(校長 松本 恭子)

当校は、金沢探究スタイルに基づく学習方法や指導方法を研究・実践している。教師が意図的に「問い」をもつ場を設定することで、児童が自ら考え、新しい価値や最適解を見出す「創造力」を育むこと目指している。全学級で問題解決学習の指導法が実施され、児童の思考力や表現力を高めている。さらに、実験器具の配置の工夫や身近な科学についてのポスター掲示など、児童が率先して実験できるよう、環境整備にも取り組んでいる。また、科学に取り組む多くの児童のサポートをし、理科研究を奨励してきた。毎年夏休みには自由研究の児童への個別相談をしており、令和7年度も20名近くの児童が相談に訪れていた。令和5、6年には、金沢市小・中学校児童生徒科学研究作品展で金沢商工会議所会頭賞を受賞した。さらに、石川県児童・生徒科学作品コンクールでは、多くの作品を出品し、優秀賞等、数多くの受賞者を輩出している。

#### 石川県立翠星高等学校

(校長 宮下 正司)

当校は、明治9年に開校し、令和8年には150年目を迎える。農業の特色を活かした公開講座や体験学習を実施し、地域産業を支える人材を輩出する拠点となっている。令和2年には、国際的な食品衛生管理手法「HACCP」の導入に取り組み、国内教育機関初の「JFS-B規格」適合証明に合格し、世界レベルの衛生管理を実践している。食品科学コースでは、伝統産業の普及に力を入れており、第11回全国和菓子甲子園で全国優勝を果たした。生物資源コースでは、学校で生産された野菜や花、加工品等を販売する直売所があり、実践的な販売を行いながら地域の方々との交流も大切にしている。さらに、技術、研究等の学習成果を、日本学校農業クラブの大会で毎年発表し、それぞれの分野で優秀な結果を取っている。SDGsにおける農業および関連分野目標を達成するための取り組み等の活動は、校内の発表にとどまらず、地域社会での実践も行っている。

### 4 学校助成

#### 珠洲市立飯田小学校

(校長 四十住 基子)

#### 珠洲市立緑丘中学校

(校長 小島 康志)

#### 石川県立飯田高等学校

(校長 嶽 桂輔)

令和8年度に珠洲市で開催する、第63回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として、小・中・高等学校をつなぐ理科教育を積極的に推進している。

## 5 研究機関助成

### 石川県教員総合研修センター

(所長 金子 俊一)

科学教育の充実に向け、科学教育担当教員の指導力・実験力向上のための研修を実施し、科学教育の振興・発展に努めている。

## 6 研究奨励 (※は研究代表者)

### AIツールの活用による教員の業務効率化と「不思議のタネ」を用いた数学探究教材の開発・実践

金沢市立野田中学校 教諭 前田 一樹

### デジタル・アーカイブを活用した地球分野の探究的な学習を目指して

珠洲市立緑丘中学校 教諭 松盛 泰明\*  
珠洲市立緑丘中学校 教頭 東 大輔

### 教科の壁を越える学びの軌跡～大聖寺高校における教科横断型授業の探究と展望～

石川県立大聖寺高等学校 教諭 稲村 竜

### 情報Ⅱ・DX同好会を基盤とした高大・地域連携型DX教育の展開

#### ーDXハイスクール採択校・大聖寺高校における実践的探究の試みー

石川県立大聖寺高等学校 教諭 西 一志

### 日本のバイオーム推定ツールとその学習効果

石川県立小松商業高等学校 教諭 小泉 慎太郎

### 物理の原理・原則の本質的な理解を問う定期試験の出題

石川県立金沢泉丘高等学校 教諭 石黒 陽太郎

### 教科横断型・リレー授業による探究型授業の実践

石川県立金沢泉丘高等学校 教諭 山口 好美\*  
石川県立金沢泉丘高等学校 教諭 寺井 千春

オンデマンド動画による研究発表を行っています。研究発表動画は、石川県教員総合研修センターWebページ(科学教育関係)から視聴することができます。



## 越馬徳治科学賞について

### 1 趣旨

越馬徳治科学賞は、昭和38年、石川県科学教育振興会の発足と同時に、優れた理科教員を顕彰し、併せて本県科学教育の振興を期して、故越馬徳治会長の寄付を基金として設立された賞である。

発足当初、小・中・高等学校において指導実績に優れ、研究業績も顕著にして少壮有為な理科担当教員を対象として表彰していたが、昭和59年度より児童・生徒の科学活動にすぐれた成果をあげた学校の表彰並びに科学教育の振興を図り実践している学校・研究所等への助成金交付が加えられた。さらに、平成元年度より理科教育の推進に功労のあった教員の表彰が加えられ現在に至っている。

### 2 表彰・助成・奨励

- (1) 理科教育の振興に努力し、その進展に顕著な業績をあげた教員の表彰
- (2) 理科教育の推進に功績のあった教員の表彰
- (3) 児童・生徒の科学研究活動にすぐれた成果をあげた学校の表彰
- (4) 小・中・高をつなぐ理科教育を積極的に推進している学校への助成
- (5) 科学教育に関する研究機関への助成
- (6) 科学教育担当教員の研究並びに教育機関に属する個人及びグループの研究への奨励

### 3 過去の教員表彰者数

上記(1)・(2)について令和7年度を含めた総数は、457名に上る。

その内訳は、小学校179名、中学校145名、高等学校133名である。